

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

7月号

令和元年7月1日号



# 新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail [soumu@nakanosogo.or.jp](mailto:soumu@nakanosogo.or.jp)

第361号  
発行人/理事長 入江 徹也  
発行責任者/総務課長 横井 悟

## 今年度より、コンタクト外来を開始しました!

眼科部長 山下 理恵子

コンタクトレンズを初めて装用希望の方には各種検査と取り扱いの説明をしますので、お時間に余裕をもって、受け付け終了時間の1時間前までにご来院ください。検査に時間がかかった場合は、2日に分けて行う場合もありますので、ご了承ください。また、目の状態によってはレンズの処方を見合わせ、先に治療を行う場合があります。

メガネがないと生活が不自由な方がメガネを持っていない場合、コンタクトレンズだけを処方することは控えさせていただきます。それは、コンタクトレンズで目にトラブルが生じたときに、メガネがないために無理な装用を続けて目の状態が悪化することを防ぐためです。患者様の近視、遠視、乱視、老視、涙の量や質、どのような目的でどのような環境で何時間コンタクトをご使用されるかを眼科専門医が総合的に判断し、最適なコンタクトを選択いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

### <当院で取り扱っているコンタクトレンズの種類>

ソフトコンタクトレンズ	1日使い捨てタイプ
	2週間使い捨てタイプ
	乱視用
	遠近両用
ハードコンタクトレンズ	カラーコンタクトレンズ
	遠近両用含む

詳細は当院眼科までお問い合わせください。特殊外来は、まず一般外来を受診していただいてからの完全予約制となっております。

### <診療体制>

当院の眼科は、2019年4月から常勤医は山下と今関の2名で、その他非常勤医師4名と共に運営しております。外来診療は予約の方が優先ですが、予約なしでも時間内の受付で受診可能です。緊急性の症状は優先で診察させていただきます(予約なしの方は場合によってはお待ちいただくこともあります)。

- ・午前中の外来:月曜日から金曜日、第1・3・5土曜日
  - ・午後の外来:火曜日、木曜日、第2・第4の金曜日
- 専門外来は、2019年1月から始めましたコンタクト外来、視力の弱い方のためのロービジョン外来、小児眼科外来・斜視・弱視外来があります。



### <外来処置>

レーザー・ステロイドのテノン嚢下注射・ドライアイ治療のプラグ挿入・コラーゲン挿入・ボトックス注射・霰粒腫に対しての切開術・鼻涙管閉塞に対してのブジー治療などを行っております。

### <手術>

白内障手術・緑内障手術・抗VEGF硝子体注射・斜視手術・眼瞼手術・翼状片手術・涙道内視鏡下涙管チューブ挿入術・鼻腔涙嚢吻合術などを行っております(その他の手術に関しては医師と要相談)。



## 創立記念祝賀会で新渡戸博士の志を共有

令和元年5月27日(月)、夏のような暑い日の終わり午後5時より新渡戸記念中野総合病院2号館3階会議室にて、新入職員を含む参加者60名を超える、創立記念祝賀会が行われました。新渡戸稲造記念センター長に就任された樋野 興夫先生のがん哲学外来の解説、山根 道雄副院長の挨拶・乾杯で始まり、立食形式にて、山根副院長による「新渡戸の言葉」の解説が行われました。

最後に、入江病院長が「職員一人ひとりが、他人事と思わずに、病院の将来に向けて取り組んで欲しい」とのお話で締めくくられ、盛会裏に閉会となりました。当院は創立に尽力された新渡戸博士の今も残る遺産・レガシーであり、元号が令和となり、改めて

当院へ託された志を職員全員で共有し、「地元(地方)」をととても大切にしたい博士の想いを分かち合うことができました。



速報

## 第2回新渡戸稲造シンポジウム ～「新渡戸稲造記念センター」開設記念～ 開催決定のお知らせ

日時 令和元年8月18日(日) 午後2時～

会場 中野サンプラザ13階コスモルーム(参加費は無料です)

定員 300名程

講師 ①茂里 一紘先生 東京女子大学学長

②宗雪 雅幸先生 恵泉女学園理事長

③樋野 興夫先生 新渡戸稲造記念センター長



## 東京医療生活協同組合へのご加入のお願い

東京医療生活協同組合は、新渡戸記念中野総合病院の経営母体となる単体組織で、皆様からの出資金で運営されています。都内在住の方、または都内に勤務されている方であれば、どなたでも加入できます。ご加入されますと、個室入院の場合、室料差額が1日あたり500円引きに、また日帰り人間ドック料金が

3,000円引きになります。

出資申込書に出資金(1口200円、5口1,000円より)を添えてお申し込みください。

担当 新渡戸記念中野総合病院 総務課  
☎03-3382-1231(代)

# 第21回 新渡戸記念中野総合病院 区民健康講座のお知らせ

テーマ **夜間頻尿の話**

日時 令和元年7月13日(土) 午後2時～3時

講師 新渡戸記念中野総合病院 泌尿器科 部長 後藤 智隆

会場 東京都生協連会館3階会議室

定員 50名(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

参加申し込み先 患者支援センター 連携担当 ☎03-3382-1231(内線211)  
または総合受付④番窓口



## 新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

開催予定日 令和元年7月2日(火)、7月16日(火)、7月23日(火)

1回あたり約50分(1日4組まで)

予約は下記、新渡戸記念中野総合病院 患者支援センターまで。

電話 03-3382-1507

受付時間 午前8時30分～午後4時30分

組合員の方なら  
どなたでも  
無料で予約できます。

## 7月の小児救急体制



7月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

\*血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間 毎日午後7時～午後10時

夜間受付 ☎03-3382-9991

### 7月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
	1 小須賀 基通	2 由良 明彦	3 高梨 栄	4 奈良 昇乃助	5 清水 泰岳	6 保崎 明
7 清水 泰岳	8 小須賀 基通	9 高梨 栄	10 山岸 稔	11 税所 純也	12 亀井 宏一	13 右田 王介
14 右田 王介	15 亀井 宏一	16 千葉 智子	17 右近 智雄	18 奈良 昇乃助	19 清水 泰岳	20 亀井 宏一
21 清水 泰岳	22 小須賀 基通	23 山田 正興	24 宇都 ちひろ	25 税所 純也	26 右田 王介	27 清水 泰岳
28 右田 王介	29 亀井 宏一	30 細谷 直人	31 村杉 寛子			

新渡戸記念を支える

職場紹介

## 血液透析&浄化療法で患者様をサポート 腎センター

臨床工学科 技師長 関口 俊之

腎センターでは腎不全患者さんに対する血液透析療法を行っています。新たに血液透析を開始する患者さんや、さまざまな合併症で入院する透析患者さんに対する治療を行っています。

また、腎臓病以外においても、さまざまな重症疾患の患者さんに対して血漿交換、血液吸着など幅広い血液浄化療法を積極的に行い、重症病態の救命を行っています。

当院の腎センターは1981年に開設されており、日本の透析医療の黎明期からの歴史があります。長年にわたり腎疾患・透析治療に関して高い評価を受けています。最先端治療のすべての過程を安全かつ正確に実施することをスタッフ全員が一丸となって努めています。



## 新渡戸 の 言葉

新渡戸 稲造先生の『修養』は明治44年実業之日本社より出版され、青年層のみならず多くの読者を得て、140版を重ねるベストセラーになりました。今月はその第十章よりの引用で、新渡戸先生は人生の苦難に直面した人びとへ助けとなる言葉を贈り届けることをライフワークにしていました。「温顔をたやすことのなかったやさしい祖父、しかし、いざとなると毅然と微動だにしないたくましい人間に変わっていく祖父、そのような姿を思い起こしつつ…」孫の加藤 武子さんが『マイグランハ新渡戸稲造』(朝日出版社2014)に記しています。

新渡戸稲造記念センター長の樋野 興夫先生も、新渡戸先生の志を、「がん哲学外来」にて、“がん”という切り口で「言葉の処方箋」を贈りつつ実践されています。「がん哲学外来」は映画「がんと生きる～言葉の処方箋」のみならず、朝日新聞の天声人語(2019・5・12)や読売新聞にも取り上げられています。

病院名変更(平成27年)以来となる「第2回新渡戸稲造シンポジウム(8月18日)」では、樋野先生を含む3名の講師の先生方にご講演頂く予定です。今から拝聴することを楽しみにしております。

(5月号の「88回目の創立記念日…」は87回目の誤りで、訂正してお詫びいたします)

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

逆境に陥りながらも、尚且つ其全力を揮って努力するものは、早晚逆境より浮み出づると思ふ。重荷を負うて尚且つ之を忍ぶものは、世が必ず何処かで之を認める。即座に之を認める者がなくとも、何日しか必らず認める。

『修養』 第十章 逆境にある時の心得

新渡戸 稲造